

RFA は低コストの E15 の夏期販売を許可する措置をとったバイデン大統領に感謝する

2022 年 4 月 12 日

再生可能燃料協会 (Renewable Fuel Association, RFA) は、ジョー・バイデン大統領が本日、最も低コストでクリーンな燃料であるエタノール 15% 混合 (E15) ガソリンを、米国の消費者がこの夏、継続して購入できるよう、迅速に行動することを発表したことを歓迎する。

バイデン大統領は本日、アイオワ州メンローにある POET 社バイオプロセッシング施設を訪問し、低炭素の再生可能燃料の国内生産と使用を促進するための施策の一つとして、この計画を正式に発表した。

RFA 理事長兼 CEO の ジェフ・クーパーは、「我々は、エタノールが低コストで低炭素のエネルギー源として、米国のエネルギー安全保障を強化するとともに、記録的な高値のガソリン価格を下げるための機会が与えられた今回のバイデン大統領とその政権の発表を讃えたいと思います」と述べた。

「この夏、燃料小売業者に E15 を提供する自由を与えることは、燃料価格の低下につながるだけでなく、温室効果ガスの排出を減らし、がんや心臓病、呼吸器疾患、その他の健康問題につながる排気ガス公害を軽減することになります。我が国がエネルギー価格のインフレに対処し、エネルギー安全保障と多様性の強化に努める中、バイデン大統領が米国の農家とバイオ燃料生産者に創意工夫と解決策を求めたことに敬意を表します」

E15 ガソリンはここ数ヶ月、エタノールを 10% 混合した標準ガソリン (E10) よりも 1 ガロンあたり 15~25 セント (1 リットルあたり 4~7 円)、エタノールを添加しないガソリン (E0) よりも 1 ガロンあたり 60~80 セント (1 リットルあたり 16~21 円) 安く販売されてきた。バイデン大統領が本日発表した措置がなければ、ほとんどの燃料小売業者は 6 月 1 日をもって、この低価格の E15 の販売を中止せざるを得なかった。

バイデン大統領はまた本日、同政権が待望していた COVID-19 緊急救済資金の再生可能燃料生産者への支払いを間もなく開始し、低炭素持続可能航空燃料 (SAF) 技術への投資も拡大することを発表した。

「米国エタノール業界は、バイデン大統領が国産の再生可能燃料を、高いガソリン価格に対処するための迅速な回答として、また運輸部門の脱炭素化のための長期的な解決策として採用したことに深く感謝しています。我々は大統領がバイオ燃料産業に対する公約を守ってくれたことに感謝し、本日発表された良識ある計画を実行するための政府との協力に期待しています」と、クーパーは述べた。

(アメリカ穀物協会による仮意訳です。不明点など正確には原文にあたられてください。)